



汗びっしょりの行進でした

子どもたちの願い みんなでかなえてやりましょう

# 交通戦争をなくそう

平和な明かるい社会を願って “交通安全パレード”

春の交通安全運動の一環として、4月10日、横芝小学校5・6年生百三十名の鼓笛隊が参加して、「交通安全パレード」が行われました。

このパレードは、成東警察署・成東交通安全協会が主催したもので、白バイやパトカー、ぬいぐるみも参加、総勢三百人の大パレードとなりました。

交通安全宣言を行う  
神崎要くん

町文化会館で行われた出発式で佐瀬哲司町長は、「昭和20年を境にして、日本から戦争がなくなっただと思っていたところ、この平和な社会の中で、再び交通戦争といういやな言葉が叫ばれています。このような言葉をなくし、平和な明るい社会にしましょう。」とあいさつ。このあと、横芝小学校の児童を代表して神崎要君が、「ぼくたちは交通のルールを守り、交通事故がなくなるようがんばります。」と交通安全宣言をしました。

も子どもたち（鼓笛隊）が主役。沿道には、カメラを持つお父さんお母さんが大勢集まりました。そのなかを、交通安全協会の役員さんは、「シートベルトをしめましょう。ヘルメットをかぶりましょう。」と、死亡事故絶滅を訴えました。

千葉県は、交通事故による死者が多く、全国的にも不名誉な記録が続いています。かけがえない子どもたちの幸せのためにも、みんなの力で交通戦争に終止符を打ちたいものです。



ぬいぐるみも参加、沿道は大勢の人・人・人